【「介護予防(フレイル特化型) モデル事業」を実施】

加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなって家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指して「フレイル(虚弱)」と言います。

脳疾患などの疾病や転倒などの事故により、健常な状態から突然 要介護状態に移行することもありますが、高齢者の多くの場合、フ レイルの時期を経て、徐々に要介護状態に陥ると考えられています。

今年度の亀岡市の介護予防事業として、畑野町で「フレイル」に 特化した講座を6月から16回連続の日程で開催しています。

関節や筋肉の痛み、動きにくさを感じている高齢者のための、正 しい体の使い方、鍛え方を学ぶ講座です。柔道整復師の先生による 「身体」「精神」「社会的」な機能低下を防止するプログラムで、 正常な筋肉や関節の動きを実践されています。







